

平成28年9月5日
九州地方整備局

記者発表資料

九州の下水道整備状況について（平成27年度末）

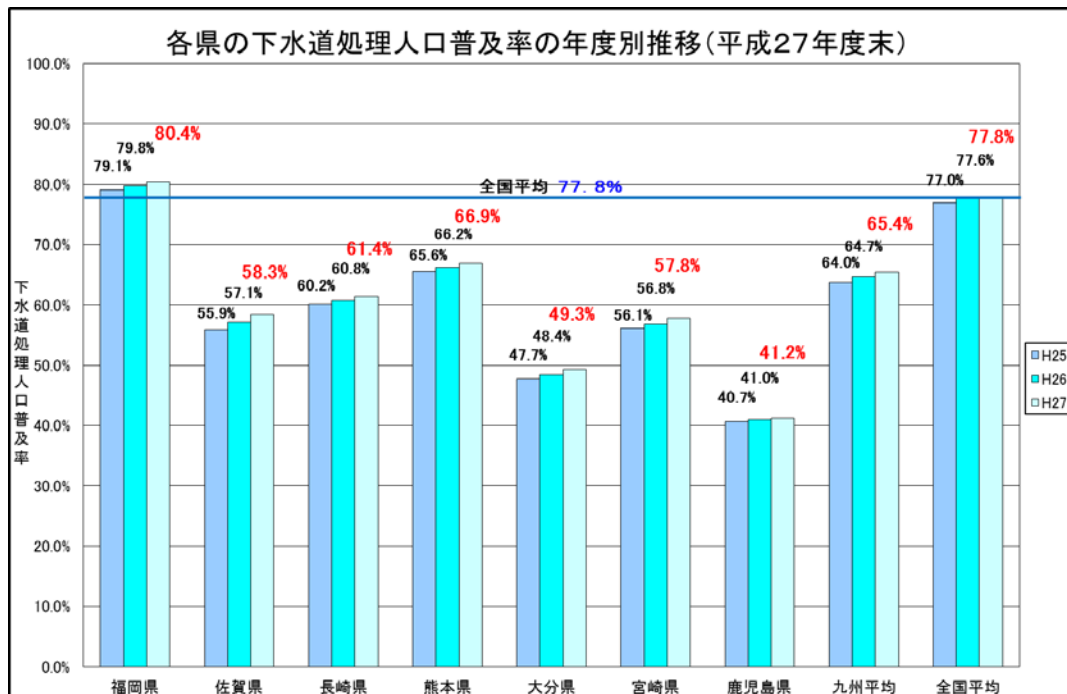
平成27年度末の九州の下水道整備状況を取りまとめました。

○下水道の整備状況

- 平成27年度末の九州の下水道処理人口普及率が**65.4%**になりました。
※昨年度から**0.7%増**（H26年度末64.7%）
- 平成27年度末の九州の下水道処理人口が**約858万人**になりました。
※昨年度から**7万人増**（H26年度末851万人）

○九州の特徴

- 九州の下水道処理人口普及率は全国に比べて**12.4%低い**。（全国77.8%）
- 九州の人口30万人未満の都市の下水道処理人口普及率は全国と比べて**特に低い**。
人口10～30万人は**16.4%低い**。（全国76.9%、九州60.5%）
人口5～10万人は**7.1%低い**。（全国64.2%、九州57.1%）
人口5万人未満は**14.1%低い**。（全国49.7%、九州35.6%）
- 九州の汚水処理人口普及率は全国に比べて**5.4%低い**。（全国89.9%、九州84.5%）



- (注) 1. 平成25年度末及び平成26年度末の全国値は、福島県において、東日本大震災の影響により調査不能な市町村があるため、公表対象外としている。
2. 平成27年度末は、福島県において、東日本大震災の影響により調査不能な市町村（相馬市、南相馬市、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村）を除いた集計データを用いている。

問い合わせ先

九州地方整備局 建政部 都市・住宅整備課
課長 百合草 真人（内線6161）
課長補佐 猪原 浩二（内線6182）
代表 092（471）6331
直通 092（707）0187

1. 下水道処理人口普及率

●平成27年度末の九州の下水道処理人口普及率が **65.4%** になりました。

※昨年度から **0.7%増**（平成26年度末64.7%）

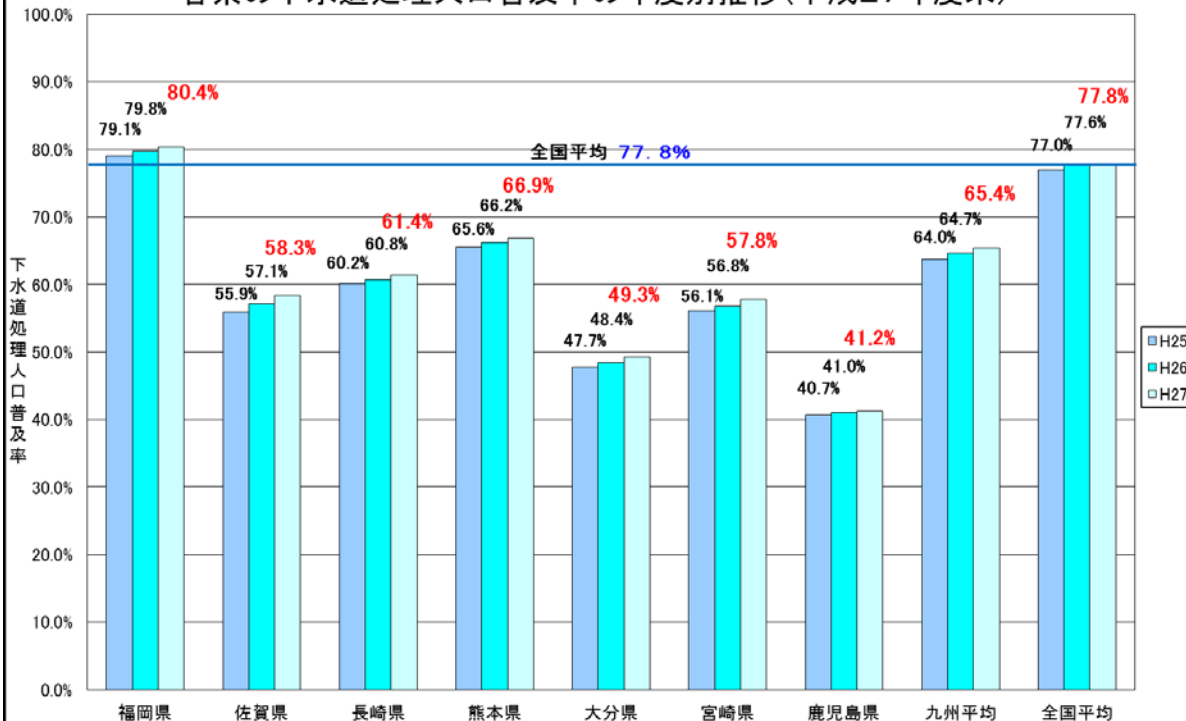
●平成27年度末の九州の下水道処理人口は **約858万人** になりました。

※昨年度から **約7万人増**（平成26年度末約851万人）

●全国の下水道処理人口普及率 **77.8%**

※昨年度から **0.2%増**（平成26年度末77.6%）

各県の下水道処理人口普及率の年度別推移(平成27年度末)



下水道処理人口普及率＝

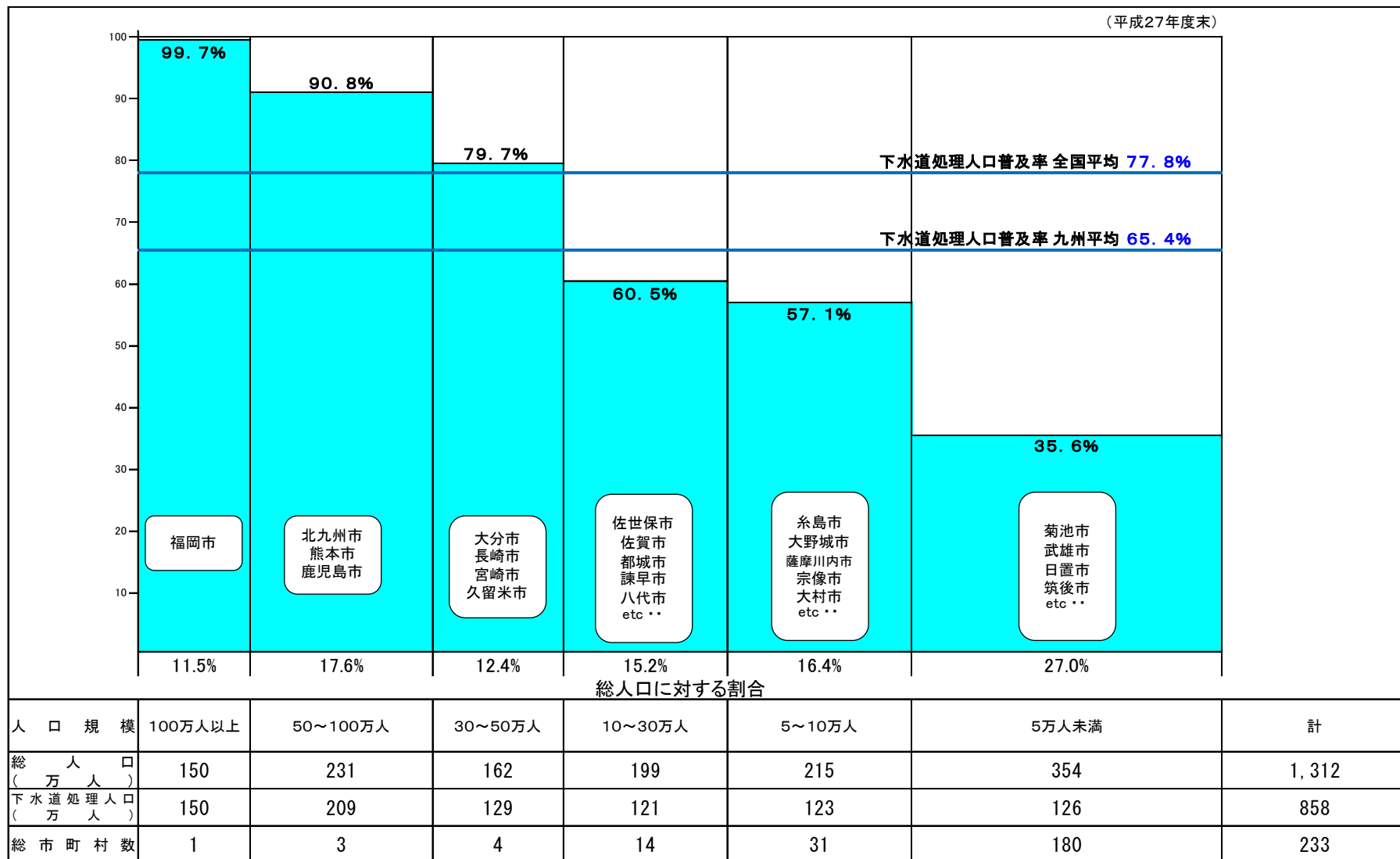
下水道処理人口／総人口（住民基本台帳人口）

(注)

- 平成25年度末及び平成26年度末の全国値は、福島県において、東日本大震災の影響により調査不能な市町村があるため、公表対象外としている。
- 平成27年度末は、福島県において、東日本大震災の影響により調査不能な市町村（相馬市、南相馬市、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村）を除いた集計データを用いている。

2. 都市規模別下水道処理人口普及率

九州の都市規模別汚水処理人口普及率(平成27年度末)



- (注) 1. 総人口・処理人口は四捨五入を行ったため、合計が合わないことがある。
 2. 平成27年度末の全国値は、福島県において、東日本大震災の影響により調査不能な市町村(相馬市、南相馬市、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村)を除いた集計データを用いている。

《参考》汚水処理人口普及率

●平成27年度末の九州の汚水処理人口普及率が84.5%になりました。

※昨年度から0.9%増（平成26年度末83.6%）

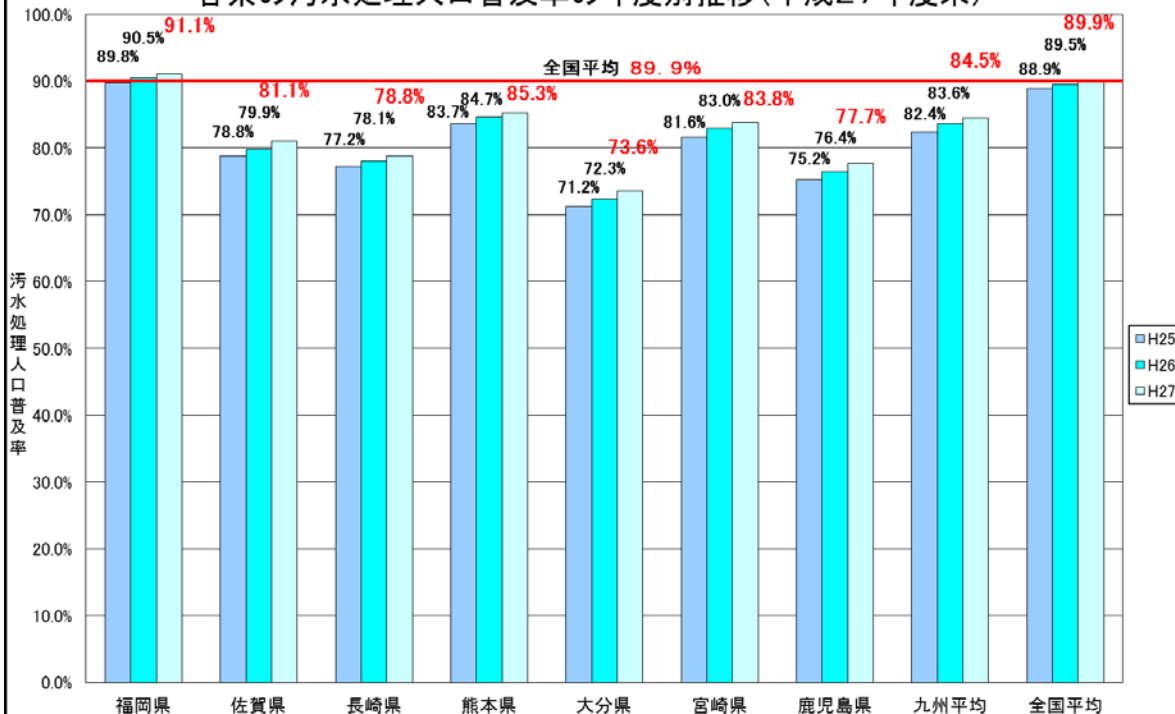
●平成27年度末の九州の汚水処理人口は約1108万人になりました。

※昨年度から約8万人増（平成26年度末約1100万人）

●全国の汚水処理人口普及率 89.9%

※昨年度から0.4%増（平成26年度末89.5%）

各県の汚水処理人口普及率の年度別推移（平成27年度末）



汚水処理人口普及率＝
汚水処理人口／総人口（住民基本台帳人口）

（注）

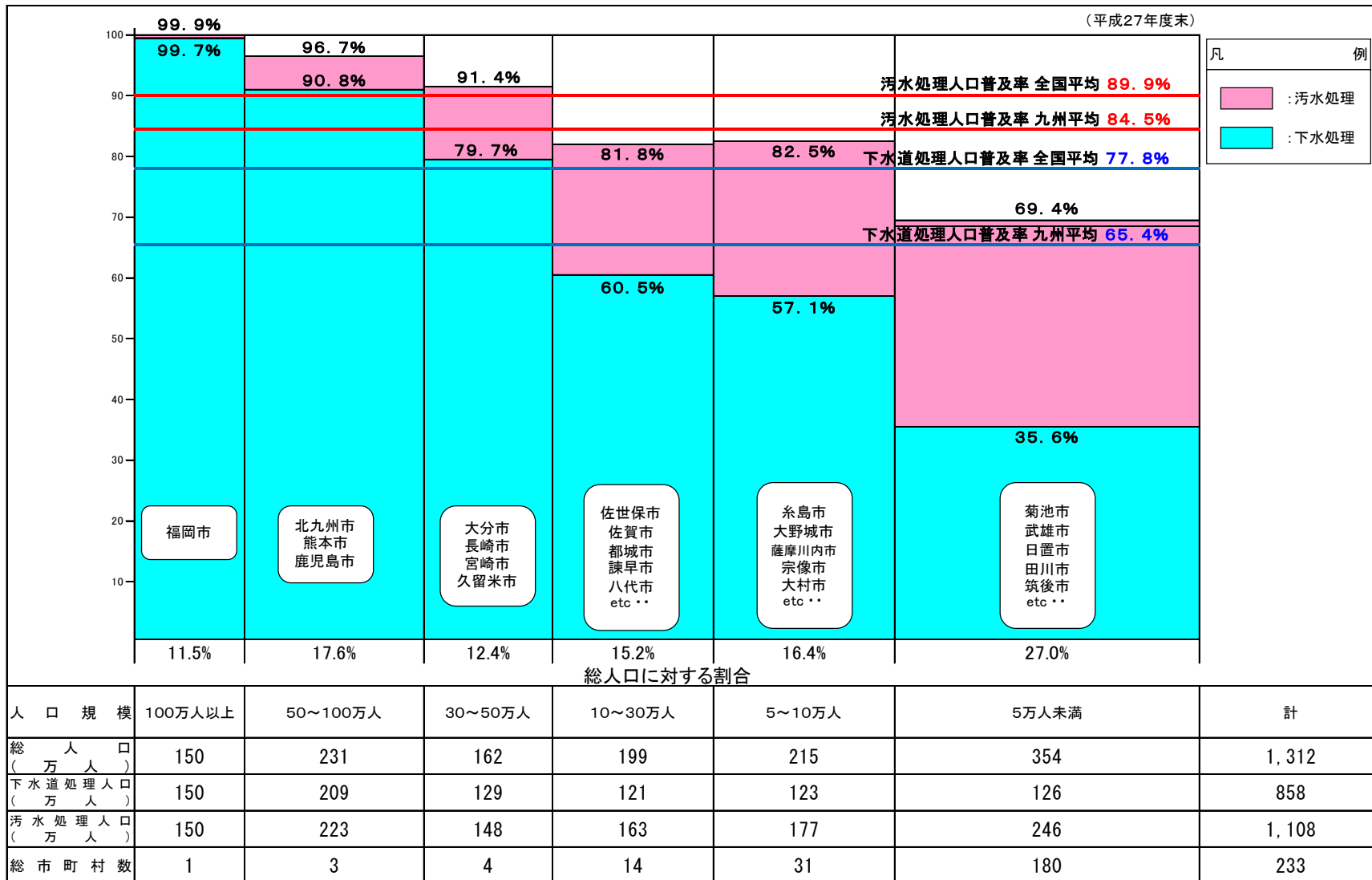
1. 汚水処理人口とは、下水道、農業集落排水等、合併処理浄化槽等の汚水処理施設での処理人口である。
2. 平成25年度末及び平成26年度末の全国値は、福島県において、東日本大震災の影響により調査不能な市町村があるため、公表対象外としている。
3. 平成27年度末は、福島県において、東日本大震災の影響により調査不能な市町村（相馬市、南相馬市、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村）を除いた集計データを用いている。

《参考》

汚水処理関係3省（農林水産省、環境省、国土交通省）連名で、福島県を調査対象外とした場合の汚水処理人口普及率（下水道、農業集落排水等、合併処理浄化槽等の合計普及率）を同日付で別途公表しています。

《参考》都市規模別汚水処理・下水道処理人口普及率

九州の都市規模別汚水処理人口普及率(平成27年度末)



- (注) 1. 総人口・処理人口は四捨五入を行ったため、合計が合わないことがある。
 2. 汚水処理人口とは、下水道、農業集落排水等、合併処理浄化槽等の汚水処理施設での処理人口である。
 3. 平成27年度末の全国値は、福島県において、東日本大震災の影響により調査不能な市町村(相馬市、南相馬市、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村)を除いた集計データを用いている。